

各 位

世界疫病終息・大祈禱会 結願にあたって

謹啓 晩夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

皆さまにおかれましては、道心堅固にてこのたびの難局に立ち向かっていただいておりますこと、心より敬意を表する次第でございます。

さて、「世界疫病終息・大祈禱会」も8月15日をもって結願を迎えることとなりました。御多端の折にも関わらず、長期にわたってご賛同いただきましたこと誠に感謝の念に堪えません。

つきましては、下記の次第にて結願のお祈りを捧げていただければ幸甚に存じます。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症の災禍は、依然として終息の見通しすら立たぬ状況がつづいております。犠牲となりました多くの方々のご冥福と、罹患されている方々の一刻も早い平癒をお祈りするとともに、このたびの「世界疫病終息・大祈禱会」をさらに推し進めるべく、皆さまとともに引きつづき祈りを捧げて参りたく存じます。

合掌

令和2年8月13日

発願人代表 村上円竜 他有志一同

# 世界疫病終息大祈禱会 結願法要 次第

## 先 開經偈

むじょうじんじんみみょうほう ひやくせんまんごう そうぐう かた  
無上甚深微妙の法は百千万劫にも遭遇すること難し  
われいまけんもん じゅ じ  
我今見聞し受持することを得たり  
ねが しんじつぎ げ  
願はくは如来の眞実義を解せん

## 次 結願文（『観音経』「念念偈」）

ねんねん うたがい なか  
念念に 疑 を生ずること勿れ  
かんぜおんじょうしょう く のう し やく  
観世音浄聖は苦悩死厄に於いて  
ため え こ な  
能く為に依怙と作れり  
いっさい ぐ じげん しゅじょう み  
一切を具して 慈眼をもって衆生を視  
ふくじゅ うみ む りょう  
福聚の海無量なり  
こ まさ ちょうらい  
是の故に応に頂礼すべし

## 次 回向文

ねが こ もつ あまね いっさい およ  
願はくは此の功德を以て 普く一切に及ぼし  
われら しゅじょう みなとも ぶつどう じょう  
我等と衆生と皆共に 仏道を成ぜん